とくしまの学校における働き方改革通信 **〜うえるびーいんぐ〜** Vol.57 取組の柱《4》部活動の適正化 ★県内の先進事例

神山町(神山中学校)における「休日の運動部活動の地域展開」の取組についてご紹介します。



【神山中学校の運動部活動】 ○軟式野球部

<u>○ バレーボール</u>部 (女子)

○卓球部(男子·女子)

各部活動に2名の指導者

※バレーボール部のみ 部活動指導員を配置 地域展開を進めたいが、神山町における 地域クラブの指導を担う人材が足りない

部活動が地域展開されたとしても、 指導を続けたいと考えている教員もいる

「神山町スポーツクラブ中学生スポーツ教室」の設立

平日の活動

「学校の部活動」として

休日の練習

「神山町スポーツクラブ活動」として

休日の活動

大会引率·練習試合

「学校の部活動」として

平日も、原則、2名のうち <u>どちらか1名の教員(部活</u> 動指導員)が交代で指導

地域クラブ活動の指導者との 兼職兼業について ○神山中学校の教員が、「<u>神山町スポーツ</u> クラブ」の指導者として兼職兼業

○報償は部活動指導員と同等の額

○原則、2名のうち<u>どちらか1名の指導者が</u> なせなお道

<u>交代で指導</u>

部活動は、「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」ですが、休日の地域クラブ活動に従事することを希望する教師については、学校以外の主体である地域団体の業務に従事することとなるため、服務

を監督する教育委員会の兼職兼業の許可が必要となり、許可を得た場合には、地域団体の業務に従事することが可能です。

<u>大会によっては、地域クラブの出場</u>が認められないことがあるため

校長先生の声

校の強みとなっています。

クラブの指導者としての報償が「働きがい」 に繋がっているようです。神山町で勤務していると、「生徒も、先生も大切に育てる」という意識を町全体から感じ取ることができます。そのことが神山中学校の部活動に愛着のある、地元出身の教員の育成に繋がり、本

兼職兼業をしている教員にとっては、地域